

令和5年度 新入生歓迎行事 挨拶

おはようございます。

昨年度まではコロナ禍のもと、全校生が一堂に会しての集会も実施できなかったと聞いています。それに対して、今年度はスタートからこのように屋内で全員が集まれるということに校長として非常に喜びを感じます。ただ、コロナウィルスの影響が「ゼロ」になったわけではありません。健康面については個々人でしっかりと留意して、安心安全な学校生活を送れるようにしましょう。

さて、昨日新しい1年生を迎え、全学年がそろい、令和5年度の神戸市立神港橋高等学校の新たなスタートが切れました。昨日の入学式で、1年生の皆さんにはスクールミッション『「ひと」を「たから」ととらえ、神戸を愛し支える「人財」を地域とともに育てる』という言葉を紹介しました。本校のスクールポリシーにある「人財」という漢字を思い浮かべてください。よく人材といえば、「人」に「材料」の「材」を書きますが、本校では「人」と「財産」の「財」と書きます。皆さんは本校の財産であり、「たから」です。

しかし「たから」も磨かなければ光りません。では、だれが「磨く」のでしょうか。それは皆さん自身です。ではどう「磨け」ばよいのでしょうか。その一つの磨き方が、昨日の始業式で生徒支援指導部長がおっしゃられた「時を守り 場を清め 礼を正す」ということでしょう。

2年生の皆さんは1年間磨きをかけ、輝き始めている段階です。3年生は最後の磨きをかける時期となりました。1年生はそんな先輩たちを見て、良いところをしっかりと身に付ける姿勢を大事にしてください。全校生徒が力を合わせて、本校の新しい歴史を刻んでいくことを願っています。

これを持ちまして、新入生歓迎行事の挨拶とします。

令和5年4月11日